学校番号	416

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編古典Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	古典文法練習ノート（尚文出版）シンプルスタイルシリーズ古文単語 301（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・短編から代表作まで、本書にはジャンルが多岐に渡って収録されているので、古典においての読解力を高め、伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養しましょう。
・歴史的仮名遣いや語彙、文法事項などの基礎的な古典の知識をしっかりと身に付けましょう。
・小テストや定期考査は計画的に準備できるようにしましょう。
・予習として本文をノートに写し、理解を深めましょう。また授業中、話し合った部分や質問された箇所についてはノートなどを確認して復習しておきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
・様々な古典作品を読んで、的確に内容を読解、理解することができる。
・副教材等を有効に活用し、歴史的仮名遣いや文法の力も高める。
・古文と漢文の読解を通し、人間、社会、時代背景等について考察していく中で、長い年月を経ても風化せずに読み継がれてきた思想を自分のものとし、古典作品に理解・関心を深めることを目指す。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	発言 発表 ノート			考査	考査 ノート 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	物語	更級日記 「門出」 「物語」	○			○	○	ade：比較的短い物語を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 de：話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	指名音読 発言 ノート提出 課題提出 定期考査
	物語	大鏡 「道長、伊周の競射」	○			○	○	ade：比較的短い物語を読んで古文に親しみを持ち話のおもしろさを理解する。 de:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	指名音読 発言 発表 ノート提出 課題提出 定期考査
		伊勢物語 「東下り」	○			○	○	ade:歌物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ae:表現上の特色を理解し、優れた表現を味わう。	発言 指名音読 ノート提出 課題提出 定期考査
二学期	漢文	呂氏春秋 「知音」 列子 「杞憂」	○			○	○	ade：長編物語を読んで、話のおもしろさを理解する。 de:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	発言 指名音読 ノート提出 課題提出 定期考査
	漢文	三国志の世界 「水魚之交」 「死諸葛走生仲達」	○			○	○	ade：長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 de:話の展開を把握し登場人物の行動や心情を読み取る。 de:本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ae:中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 a:歴史の中の人間について考える。	指名音読 発言 発表 ノート提出 課題提出 定期考査
三学期	日記	奥の細道 「漂白の思い」 源氏物語 「光源氏の誕生」	○			○	○	ade：紀行文や物語を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会や文化などについて自分なりに考察する。 de:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	指名音読 発言 発表 ノート提出 課題提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力　　c: 書く能力
d: 読む能力　　e: 知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。